

国立妙高少年自然の家

(中頸・妙高村)

■環境：高原、森林
 ■対象：家族
 ■期間：5月上旬
 8月下旬

妙高山のすそ野にある妙高自然の家では、子どもたちが恵まれた大自然の中で、仲間と宿泊しながら自然からさまざまなことを学ぶことができる。自然体験のプログラムが充実していて、四季を通して学習できる。

<初夏の野鳥観察コース>

自然の家の敷地内にある自然観察コースや自然の家の周辺でも十分に野鳥を見ることができる。しかし初夏に夏鳥たちのさまざまな姿を見るためには二つのコースが考えられる。

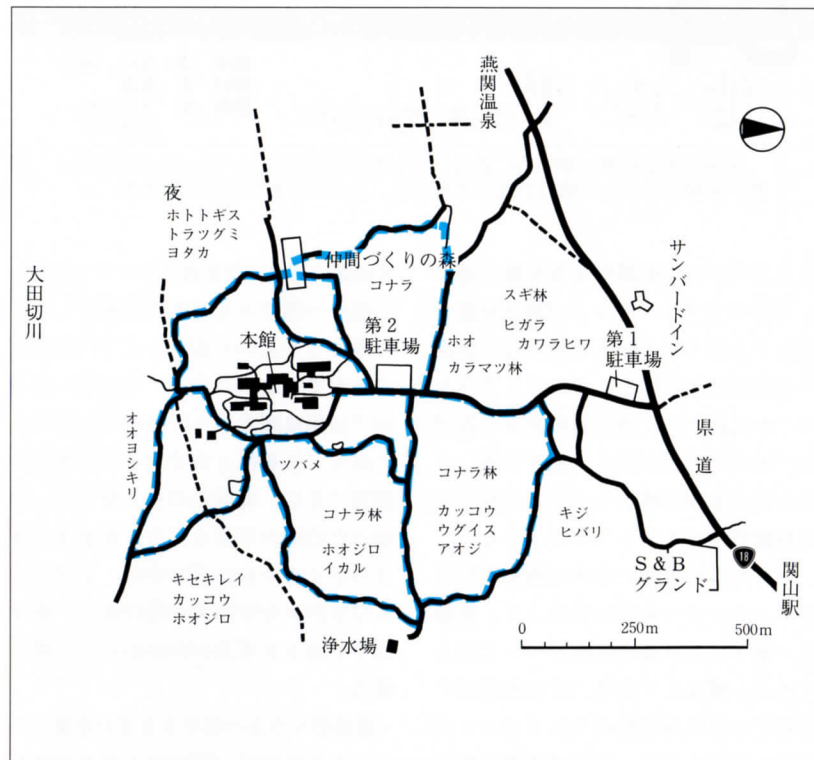
一つは、自然の家本館の北側にある「仲間づくりの森」を抜けキャンプ場を通り、自然の家に戻ってくるコースである。「仲間づくりの森」は広葉樹と針葉樹の木々が交じりあっている。この森を歩いていくとキビタキ、サンコウチョウ、ヤマガラ、シジュウカラなどの鳥たちの姿やさえずりを聞くことができる。森の奥のほうからは枯れ木を盛んにたたかアカゲラのドラミングの音やクロツグミの歌声が聞こえてくる。森を抜けキャンプサイトに出ると視野がひらけ、上空を飛ぶイワツバメを見ることもある。

二つ目のコースは、大池周辺を観察するコースである。自然の家本館からつどいの広場を下り、ベガス広場に向かう。自然の家の屋根や広場にはハクセキレイが尾羽を揺らしている。ベ

ガス広場を抜けるとススキの原野で、妙高山を一望することができる。木の上にはカッコウの姿が、遠くの森からはホトトギスの鳴き声が風によって聞こえる。上空にはイワツバメに交じりアマツバメの姿が見える。ススキの原野を進むと小さな水路があり、そこを左に曲がり坂道を下る。しばらく歩き左側の小道に出たら、小道を曲がる。このあたりは美しい野草が目を楽しませてくれる。さらに進み、道を一本横切り「広葉樹林の森」にたどりつく。森の中では、シジュウカラ、メジロ、ノジコなどが姿を現す。森の先が自然の家と大池である。大池は水生昆虫が多く、それをエサとするキセキレイが現れる。

<四季それぞれの自然体験>

自然の家は、野鳥観察だけでなく、たくさんの自然体験のプログラムを持つ学習施設である。自然の家をベースに妙高山、火打山を登山するコース、自然の家周辺を探索するコース、冬季にはスキーを楽しむこともできる。宿泊し、夜間天候がよければスバルホー



ルからの天体観測も可能である。泊まりがけで自然を満喫するには最適な場所である。

(勝俣将明)

メモ

交通 J 関山駅から徒歩60分。

☐ 敷地内には、第1・第2駐車場がある。第2駐車場のほうが本館に近く便利である。トイレは自然の家の中にある。

探鳥会 特に野鳥観察だけのプログラムはない。

道草 近くには、関温泉、燕温泉があり、探鳥会のあと、疲れをとるのもよい。少し足を延ばして、いもり池や野尻湖、笹ヶ峰、黒姫高原を探索するのもよい。